

健康課
保医療

健康な歯で豊かな老後を

8020達成者87人を表彰

庄原市歯科衛生連絡協議会は、歯の健康に対する意識の向上を図るため、80歳以上の方で20本以上自分の歯を持つ方を対象にした『8020達成者表彰事業』を実施しています。

今回、本年度上半期として、当初の予想をはるかに上回る87人を表彰。11月から12月にかけて、歯科医院やご自宅で、表彰状と記念品を手渡ししました。

受賞した皆さんは「日頃から歯の手入れを行っている」「自分なりの健康習慣を続けている」などと話し、すてきな笑顔を見せていました。

高齢者社会を迎え、健康で豊かな老後を過ごすためにはお口の健康は重要です。皆さんも『80歳になっても20本以上が自分の歯!』を目指していきましょう。



表彰状を手に喜ぶ中本町の片岡美子さん

健康課
保医療

市民の健康生活を応援します
健康講座(出前講座)を開催

市は10月から12月にかけて、「健康講座」(出前講座)を5回、庄原市保健センターで開催し、1回平均35人の参加がありました。

この講座は、庄原赤十字病院と連携し、平成20年度から開催しています。

本年度は、「腰・ひざの痛み」「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「肝臓病」と生活習慣病に関するものを中心にした内容で開催し、庄原赤十字病院の医師が、病気の特徴や症状のほか、病院での最新の検査方法や治療方法を紹介。参加者は真剣に耳を傾けながら、日頃行っている運動方法の確認や治療方法に関する疑問、自分の身体で気

機課
危管理

気持ち新たに より一層の防災を誓う

平成25年庄原市消防出初式

平成25年庄原市消防出初式が1月13日、庄原市総合体育館で行われ、消防団員671人と備北地区消防組合の消防署員62人が参加しました。

式では、厳粛な雰囲気の中、新入団員への辞令交付や永年勤続者への感謝の贈呈、滝口季彦市長による観閲な

どが行われました。また、初期消火や人命救助などに努めた一般市民の方へ上原清司消防団長から感謝状が贈られました。

上原団長は「地域住民の尊い人命と財産を守る地域防災の要として、われわれ消防団の果たすべき役割は極めて重要であり、市民の期待に応えていかなければならない」と訓示し、本年9月に開催される、小型ポンプ操法広島県大会に出場する比和方面隊を激励しました。

昨年、市内では27件の火災が発生し、一昨年より15件減っています。

なることなどを積極的に質問していました。

アンケートでは「今後もこのような講座を継続してほしい」、「日赤の先生が地域に出て話をしてくださるのでうれい」という声が聞かれました。



講座の様子



新入団員を代表し、比和方面隊の松島賢治さんが宣誓